

山口大学八月生活報告書

三年一組黄思嘉

八月六日台湾に帰りました。最後には、一年間の感想を話したいと思います。

今になって、思い出したら、最初に山口に行った時に、全然日本語をしゃべれなかったです。日本人と話すのはとても怖くて、いつも中国語を話している人しか喋らないです。

それに、私が選んだ学部は経済学部です、留学生たちはほとんど国際総合科学部を選びました。国際総合より経済学部は留学生向けのイベントが少なく、バディーというシステムもなく、日本人の学生たちとのコミュニケーションの機会はとても少ないです、これはとても残念なところだと思います。

日本で一番よく日本語を使うところは、バイトをしていたセブンイレブンで。バイトを始めた切っ掛けは、友たちが全部宿題とレポートがあって、忙しいですから、私と一緒に遊ぶ時間がなくて、とてもひまになりましたから、何かをしようと思って、バイトをはじめました。

バイトを始めた連れて、私の留学生活がだんだん豊かにな

りました。従業員のみんなと同じ留学生の仲間たちは私にいろいろ助けてくれました、友たちになって、色んなことを一緒に体験して、とても貴重な思い出だとおもいます。

この一年間、とても有意義な一年間だと思います。もし機会があれば、また山口へ行きたいです。





2018.09.12